序　盛岡藩にみる社会的構造と環境・空間構造……浪川健治 7
—元文三年「諸士知行所出物諸品并境書上」の分析—

Ⅰ　歴史資料としての「諸士知行所出物諸品并境書上」の作成とその歴史的背景……浪川健治 14

論文1　「諸士知行所出物諸品并境書上」の作成と
その歴史的背景……浪川健治 14

はじめに——14
一、享保中～後期の盛岡藩政——15
（一）享保期における倹約政策の展開とその挫折——15
（二）「沖弥一右衛門上書」をめぐって——17
二、享保末年～元文期における藩財政と給人層——20
（一）「七ヶ年御勘略」の開始——20
（二）給人層の疲弊と身分制秩序の弛緩——22
三、体制の再編と権力の集中——23
（一）家臣団再編成の動向—二つの「覚」とその意味———23
（二）寛保期における藩主—御側御用人体制による藩政主導とその基盤——27
おわりに——31

Ⅱ　資料データとその分析

論文2　元文期における盛岡藩の給人とその給地……山下須美礼 35
—「諸士知行所出物諸品并境書上」に記された知行の状況—

はじめに——35
一、給人の構成——35
二、給人個々における給地数とその分布——37
三、相給について——39
四、貢租形態について——41
五、新田開発——42
六、在々御給人・御与力による新田開発と代官所への出仕——43
まとめにかえて——46

論文3　元文期盛岡藩領における土地資源利用の空間構造……清水克志 48
—「諸士知行所出物諸品并境書上」データの地図化を通して—

はじめに——48
一、盛岡藩領の基本的性格——48
（一）地形的特徴——48
（二）行政区画としての「通」——51
（三）村落の分布——51
二、盛岡藩領における多様な土地資源の分布とその利用形態——53
（一）農業的土地基盤とその利用形態——53
（二）山林原野・河海湖沼における資源利用の諸形態——60
（三）商品流通の発達と渡世の諸形態——66
結びにかえて——69

Ⅲ「諸士知行所出物諸品并境書上」から読む地域社会

論文4　「産物」認識の可能性……渡部圭一 72
—自然・資源・権力をめぐる一考察—

はじめに——72
一、海と山と里の世界——72
（一）産物の全体像——72
（二）雛形と「書上」の対応——76
（三）地域偏差の検討——77
二、「渡世」書上の諸相——77
（一）遺用・給料と商売——77
（二）麻・綿・煙草——78
（三）野菜と雑穀——79
三、商品認識の特質——79
（一）産物〈認識〉問題へ——79

(二) 渡世のフィールド ―― 80
(三) 「書上」の認識範囲 ―― 82
四、自然・資源・権力 ―― 82
(一) 自然と産物のあいだ ―― 82
(二) 産物をめぐる政治 ―― 84
(三) 所給人の自由 ―― 86
むすび ―― 87

論文5 元文期盛岡藩領における山地景観とその利用形態……加藤晴美 91
―山林荒廃との関わりから―
はじめに ―― 91
一、盛岡藩における林政と「書上」の山林に関する記載の概要 ―― 91
(一) 盛岡藩における山林の区分と山林政策 ―― 91
(二) 「書上」における山林に関する記載の概要 ―― 92
二、「書上」にみる山地景観と山林荒廃 ―― 93
(一) 盛岡藩領における山林の分布 ―― 93
(二) 山地景観と山林荒廃の状況 ―― 95
(三) 山林荒廃の影響 ―― 97
三、山林の利用形態 ―― 98
(一) 山林の自給的利用 ―― 98
(二) 林産資源の商品化 ―― 99
a 材木の伐採と杣稼ぎ ―― 99
b 薪炭生産 ―― 101
c 漆・木地・狩猟など ―― 102
四、山林荒廃の要因とその対策 ―― 103
(一) 山林荒廃の背景 ―― 103
a 新田開発の展開 ―― 103
b 御留山の開放 ―― 105
(二) 山林荒廃への対策と植林事業 ―― 106
おわりにかえて ―― 108

論文6 年中行事に関する貢租と盛岡藩士の知行地支配……吉村雅美 110
はじめに ―― 110
一、年中行事に関する貢租の属地的・属人的特徴 ―― 110
(一) 礼銭・椀飯物徴収の地域的特徴 ―― 110
(二) 礼銭・椀飯物を徴収する給人層 ―― 111
a 礼銭を徴収する給人 ―― 112
b 椀飯物を徴収する給人 ―― 114
二、年中行事をめぐる給人と百姓―鈴木恰家を中心に― ―― 115
(一) 鈴木恰家の年中行事と知行百姓 ―― 115
(二) 給人による小者の使用 ―― 117
(三) 給人の知行地支配と百姓 ―― 118
三、年中行事に関する貢租の銭納化 ―― 119
(一) 和賀郡宮田村・倉沢村百姓の「願書」 ―― 119
(二) 礼銭使用の実際 ―― 120
おわりに ―― 121

Ⅳ 「諸士知行所出物諸品并境書上」による属人データと属地データ ―― 5
凡例 ―― 7
1 「諸士知行所出物諸品并境書上」による属人データ ―― 32
2 「諸士知行所出物諸品并境書上」による属地データ ―― 184
3 「諸士知行所出物諸品并境書上」による給人の新田開発

執筆者一覧